

姨捨の棚田(千曲市)

おぼすて

名勝姨捨の里の説明板とさまざまな歌碑









名勝 姨捨(田毎の月)四十八枚田地区

千曲

- 所在地：長野県千曲市大字八幡
- 指定：平成11年5月10日 “名勝”に指定
- 面積：名勝指定地67,278.38㎡
(3つの地区から構成)

姨捨(田毎の月)は、聖山高原を背に善光寺平を一望する標高460mから560mまでに至る面積約40haの景勝地の中にある棚田です。

16世紀半ばから形成されていった棚田は、江戸時代以降、文学・絵画の題材に多く取り上げられるなど、風致景観の優秀な記念物です。

姨捨「田毎の月」の景観を保護するために、碓石や芭蕉の句碑などがある長楽寺を展望地点として、そこから望まれる四十八枚田と、碓石を展望地点とし、そこから望むことの可能な約3haの棚田地域を、それぞれ名勝に指定し、保護を図るものです。

四十八枚田地区

阿弥陀仏四十八願に由来するという「四十八枚田」は、字「月見田」地籍に現在43枚(かつては48枚)の小さな区画の水田があります。この水田は長楽寺の所有で、「四十八枚田保存会」のみなさんを中心に長楽寺の棚田オーナーの支援を受けて、田越し灌漑など伝統的な方法で耕作されています。

姨捨の名勝指定地の中で、区画や耕作の方法など古くからの形態をよく残しています。

田越し灌漑は、上の田から下の田へ畔を越え順番に水を引くもので、姨捨の棚田では一般的に行われてきましたが、現在は用水路の整備により少なくなってきました。



お願い

棚田内への見学車両の乗り入れは、耕作の支障となりますので、乗り入れないでください。



48枚の小さな水田が並ぶ地籍図 [明治26(1893)年]

← 長楽寺へ約300m

八幡 武水別神社へ約1.5km →



水面に映る冠着山に懸る月



新に置かれた「田毎観音」と春-秋の様子



- ◆所在地：長野県千曲市大字八幡
- ◆指 定：平成11年5月10日 “名勝”に指定
- ◆面 積：名勝指定地67,278.38m²
(3つの地区から構成)

姨捨(田毎の月)は、^{ひじりやまこうげん}聖山高原を背に^{ぜんこうじだいら}善光寺平を一望する標高460mから560mまでに至る面積約40haの景勝地の中にある棚田です。

16世紀半ばから形成されていった棚田は、江戸時代以降、文学・絵画の題材に多く取り上げられるなど、風致景観の優秀な記念物です。

姨捨「田毎の月」の景観を保護するために、^{おばいし}姨石や芭蕉の句碑などがある^{ちょうらくじ}長楽寺を展望地点として、そこから望まれる四十八枚田と、^{めいし}姪石を展望地点とし、そこから望むことの可能な約3haの棚田地域を、それぞれ名勝に指定し、保護を図るものです。

しじゅうはちまいだ

四十八枚田地区

あみだぶつ

阿弥陀仏四十八願に由来するという「四十八枚田」は、字「月見田」つきみだ地籍に現在43枚(かつては48枚)の小さな区画の水田があります。

この水田は長楽寺の所有で、「四十八枚田保存会」のみなさんを中心に長楽寺の棚田オーナーの支援を受けて、田越したごし灌漑など伝統的な方法で耕作されています。

姨捨の名勝指定地の中で、区画や耕作の方法など古くからの形態をよく残しています。

田越し灌漑は、上の田から下の田へ畔を越え順番に水を引くもので、姨捨の棚田では一般的に行われてきましたが、現在は用水路の整備により少なくなってきました。



重要文化的景観「おばすて たなだ 姨捨の棚田」

千曲

- ◆ 名称：姨捨の棚田
- ◆ 所在地：長野県千曲市大字八幡
- ◆ 選定：平成22年2月22日「重要文化的景観」に選定（水田・畑地などの農耕に関する景観地）
- ◆ 選定範囲：面積 64.3 ha



善光寺平を一望する姨捨の棚田

古くから月見の名所・豪老説話で有名な姨捨地区（標高460～560m）の傾斜には、
眼下の千曲川や善光寺平と呼ばれる広大な盆地を臨んで、約1,500枚の棚田が展開しています。

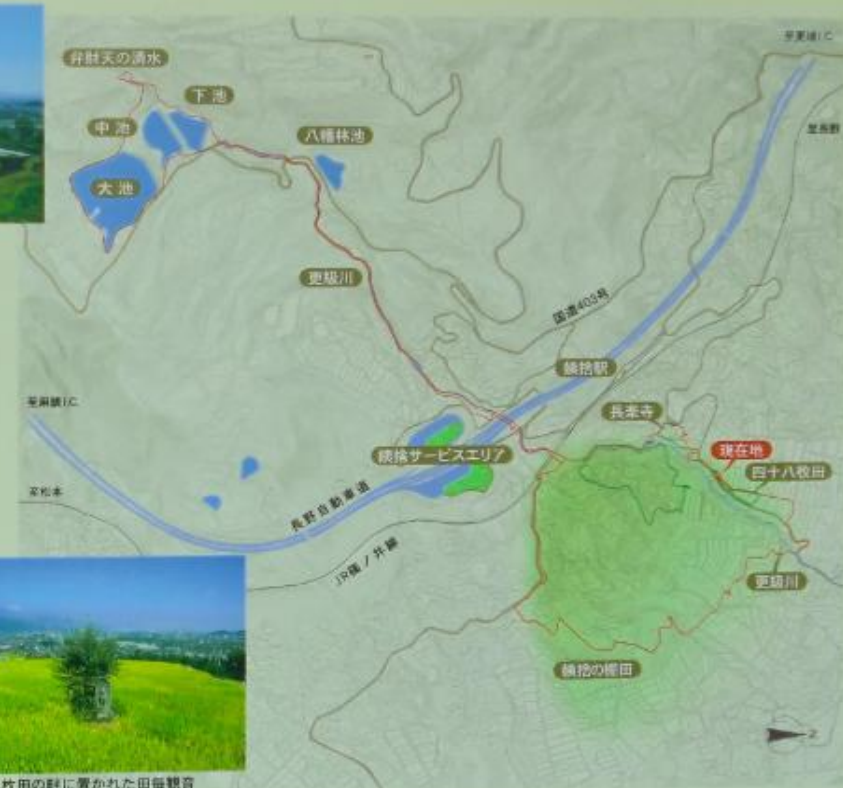
近世初頭に畑や水田が混在する耕作が行われ始め、その後利水が進展することにより水田が主体となり、16世紀半ばから近現代にかけて、日本を代表する棚田の文化的景観を形成しました。

「姨捨の棚田」の基本構造は、土石流が形成した斜面上の棚田と、その水源である更級川上流の大池が有機的に結びついているという特徴があります。近世初頭における営農は、斜面上の湧水群を利用して始まりましたが、やがて大池から更級川を経て各用水へと配水する灌漑手法ができ、土坡の畦畔を越えて導水する「田越し」と呼ぶ灌漑方法や、水田の下層に敷設された「ガニセ」と呼ぶ暗渠による排水方法が工夫されることにより、棚田は斜面全体へと広がりました。

このように、「姨捨の棚田」は、水源となる大池から更級川へと繋がる水系を軸として、用水や田越しの灌漑手法が網の目のように張り巡らされ、16世紀半ばから近現代に至るまで継続的に営まれてきた農業の土地利用の在り方を示す独特の文化的景観であり、日本人の生活または生業を理解する上で欠くことのできないものです。（文部科学省）

ご協力をお願いします

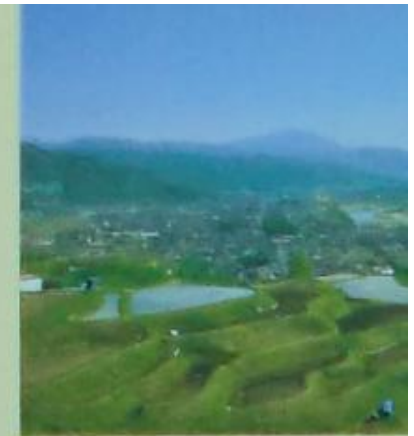
- ・ 棚田内への見学車両の乗り入れは、耕作の支障となり、また道幅が狭いので乗り入れないでください。
- ・ この重要文化的景観選定区域(64.3ha)は、千曲市景観計画の景観形成重点地区「姨捨地区」にあたります。
- ・ この地区内で、建物の建築や土地の造成等に当たっては、景観に配慮するとともに届出が必要な場合もあります。
- ・ 詳しくは、千曲市役所 都市計画課までご相談ください。電話 026-273-1111(代表)
- ・ 重要文化的景観については、千曲市教育委員会までお問い合わせください。電話 026-261-3210



四十八枚田の斜に置かれた田毎觀賞

重要文化的景観選定範囲図 凡 例 □ 重要文化的景観選定地(宅地は除外) □ 名勝指定地

- ◆ 名 称：^{おぼすて たなだ}姨捨の棚田
- ◆ 所 在 地：長野県千曲市大字八幡
- ◆ 選 定：平成22年2月22日「重要文化的景観」に選定
(水田・畑地などの農耕に関する景観地)
- ◆ 選定範囲：面積 64.3 ha



善光寺平を一望す

古くから月見の名所・^{きろうせつわ}棄老説話で有名な^{おぼすて}姨捨地区(標高460~560m)の傾斜には、
眼下の^{ちくまがわ}千曲川や^{ぜんこうじだいら}善光寺平と呼ばれる広大な盆地を臨んで、約1,500枚の棚田が展開しています。

近世初頭に畑や水田が混在する耕作が行われ始め、その後利水が進展することにより水田が主体となり、16世紀半ばから近現代にかけて、日本を代表する棚田の文化的景観を形成しました。

「姨捨の棚田」の基本構造は、土石流が形成した斜面上の棚田と、その水源である^{さらしながわ}更級川上流の^{おおいけ}大池が有機的に結びついているという特徴があります。近世初頭における営農は、斜面上の湧水群を利用して始まりましたが、やがて大池から更級川を経て各用水へと配水する^{どは けいはん}灌漑手法ができ、土坡の畦畔を越えて導水する^{たご}「田越し」と呼ぶ^{あんきょ}灌水方法や、水田の下層に敷設された「ガニセ」と呼ぶ暗渠による排水方法が工夫されることにより、棚田は斜面全体へと広がりました。

このように、「姨捨の棚田」は、水源となる大池から更級川へと繋がる水系を軸として、用水や田越しの灌漑手法が網の目のように張り巡らされ、16世紀半ばから近現代に至るまで継続的に営まれてきた農業の土地利用の在り方を示す独特の文化的景観であり、日本人の生活または^{せいぎょう}生業を理解する上で欠くことのできないものです。



姨捨の棚田

四十八枚田の畔に置かれた田毎観音

重要文化的景観選定範囲図

凡例 重要文化的景観選定地(宅地は除外)

名勝指定地

0 500

千曲市の市街地から遠く善光寺平が広がっている/右手は調査隊の車



ここは四十八枚田地区





田毎の月四十八枚田保存協力者の名簿が立つ







田毎観音





斜面上の姨捨駅方向を見る





次は姨捨地区の棚田へ



千曲市姨捨

市の南方に位置する伝説の里「姨捨(おばすて)」
地域は、善光寺平を一望し、日本三大車窓の一つに
数えられている展望の良い所です。

姨を捨てようとして捨てられなかった孝行息子伝説
(大和物語)でも知られ、古くから歴史に登場しています。



安藤広重
「六十余州名所図絵・信濃」
更級田毎月・鏡台山
千曲市森 / 興正寺所蔵

名月の里“おばすて”

山裾に丹念に作られた棚田(千枚田)は、名月の
山鏡台山を望む「田毎の月」の名で知られ、田に
水がはられていれば水面に月影が映え幻想的な
風景が楽しめます。

信濃三十三番札所の古刹長楽寺には多くの
俳人が訪れ、現在は中秋の名月に毎年観月祭が
催されています。

- わが心なくさめかねつ更科やおばすて山に照る月を見て
(古今和歌集)
- 月もいででやみにくれたる姨捨に何とてこよひ尋ね来つらむ
(更級日記)
- おもかげや姨ひとりなく月の友
(芭蕉：更級紀行)

OBASUTE is reminiscent of the myriad legends of the bright moon on a clear night. This little village is renowned for the magnificent reflections of the moon that appear in the numerous rice paddies below.

The traditional Chorakuji Temple is famous for its past visitors: acclaimed poets such as Basho Matsuo and Soji, among others.

棚田周辺案内図



姪石苑まで徒歩約8分
(姨捨SAより徒歩約15分)

分岐点には左のような案内標識があります

(贈) 東日本鉄道文化財団

棚田保全事業への取り組み

先人の知恵と努力で山の斜面を切り開いた棚田。農家が何百年もかけて作り上げた景観であり、稲作文化の貴重な財産でもあります。

ここおぼすて棚田には、25ヘクタール約2000枚の棚田があります。

1枚あたり平均面積は、約120～130m²。荒廃化が進み、地域農業振興の大きな課題でしたが、このような中で県営ふるさと水と土保全モデル事業が導入され、棚田整備が行われました。

こうした事業と並行して労働力(後継者)不足による休耕を補う一策として、「棚田貸します制度」が創設され全国からオーナーが参加をされています。

また棚田を有する市町村が集まり、全国棚田(千枚田)連絡協議会が組織され、本市においても全国棚田サミットが平成9年10月に開催されました。

「棚田貸します制度」会員募集中
お問い合わせ先

長野県千曲市農林課

TEL 026-275-1050

FAX 026-275-4579

<http://www.city.chikuma.nagano.jp/>



ここから少し登って行く



ここは姨捨地区の棚田



棚田より遠く千曲川から千曲市街地を望む









斜面上の姨捨駅方向を見る





棚田から見る善光寺平



中央の高まりは姪石



参考ホームページ

<http://www.city.chikuma.nagano.jp/app/b-soumu/k-hisyokouhou/obasute-tanada.html>

http://www.geocities.jp/sinanozi_123/obasute.html

<http://www.shinshu-tabi.com/oba.html>

